

# 未利用水産資源の有効利用に関する調査研究 ～深浦市場実態調査に基づくビジネスプランの提案～

愛媛大学 農学部 海洋生産科学4年生 福澤 範明

## 目的

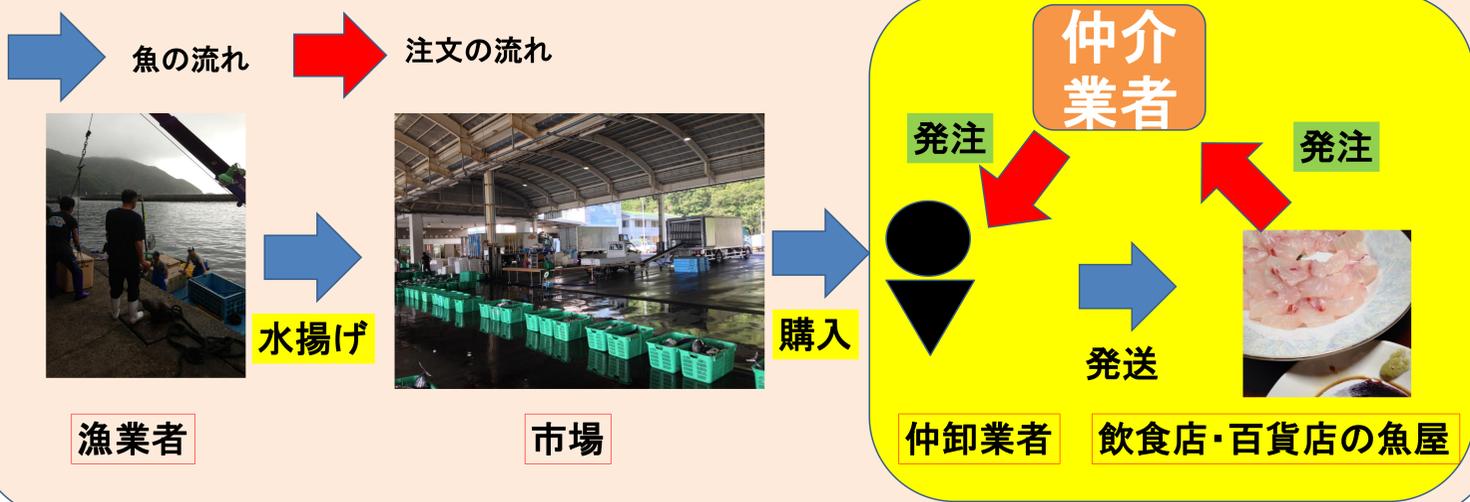
漁業によって取られる資源の中には多くの未利用資源が潜在しています。「未利用」となった理由としては、主に、大きさや見た目、市場価格が低いなどの問題によって廃棄されてしまうためです。これら廃棄される魚の中には見た目は悪いが味が良く、漁業者が好んで食べているものも含まれています。しかしながら、消費者の食の意識の地域性、購買意識において、最近では見た目を重視する傾向にあるため、こういった水産物には値がつかず、市場に出回っていないのが現状です。そこで私の卒業論文では、深浦市場にて現在行われている未利用資源の流通の調査を行い、現状を分析、問題点の発掘、解決案を考え、新しいビジネスプランを提案します。

## 調査方法

- 1, 深浦市場で行われている未利用資源の流通方法の調査を現地にて週1～2回行いました。
- 2, 流通先へ出荷される主な魚種、流通先のニーズの調査・発送される魚種、注文書の確認を行いました。
- 3, 現在の問題点と改善方法・仲卸業者へのヒアリング調査、実際に作業して改善点を分析しました。

## 結果

### 未利用魚のセリから流通までの流れ調査結果



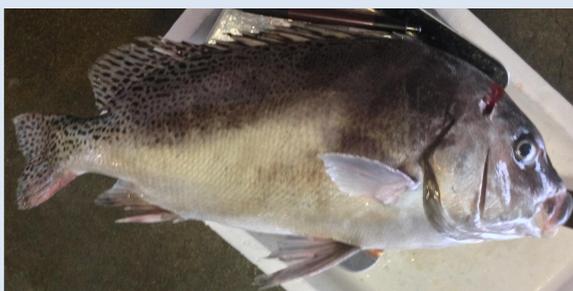
## 補足

仲卸業者は朝と夕方の二回市場で魚を購入します。購入した魚は血抜き梱包まですべて行い配達業者を使って発送します。仲卸業者は、飲食店などから魚の要望、キロ数を聞き、仲卸業者へ注文します。注文を受けた仲卸業者は魚を発送し、発送した魚の種類を仲介業者へ伝えます。

### 主に出荷される未利用魚の調査



レンコダイ・チダイ・カワハギ・カサゴ  
カイワリ・マトウダイ・ミノカサゴ



コショウダイ



ウミヒゴイ



ブダイ



ウスバハギ・イラ

## 注文先

### 人気魚種ランキング

- 1位, ウミヒゴイ
- 2位, コショウダイ
- 3位, イラ
- 4位, ブダイ
- 5位, カワハギ

### 出荷量が多い魚種 ランキング

- 1位, ウスバハギ
- 2位, カイワリ
- 3位, チダイ
- 4位, ヘダイ
- 5位, イトヒキアジ

## まとめ

現在行われている流通方法で使用される未利用資源の種類は71種類であるということが分かりました。

未利用魚は安定した数が獲れず出荷する魚種が不安定であり、さらに、出荷と購入の需給のバランスが悪く、余りすぎたり、大幅に足りない事が起こりやすい事が分かりました。

## 補足

水揚げされた未利用魚はほぼすべて購入し出荷されます。レンコダイ・チダイ等を除く。出荷量≒水揚げ量

## 新しいビジネスプランの提案

私が提案する新しいビジネスプランは、未利用資源だけを取り扱う消費地市場を作る事です。愛南町や愛媛県で漁獲される未利用資源は、関西方面では高級魚として扱われているものがたくさんあります。そこで、各産地市場から未利用資源だけを集めることで、価値の無い魚に価値を付加させられるのではないかと考えています。これにより現在低迷している漁獲額の向上、流通の安定化が図られ漁業者の手助けになればいいと考えています。